winter memory

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

winter memory それは遠い昔の　少年と少女にまつわる物語

winter memory 僕は君を忘れない　ありかけた愛が夢にまたがるその時を

わからなかった　それは子供で

深く何を　言っていたのか　Ah- Ah- Ah-

悲しみ泣いたのは　切なかったからで

いらつき叫んだのは　苦しかったからで

あの愛亡きさまと　幸せを返せよ

あの愛亡きさまと　喜びを返せよ

街が　人が　夢が　叫んでいる

たぶん　ずっと　ここで　叫んでいる

あなた　もしも　死んでしまうならば

時も　声も　幻　その笑顔

winter memory それは遠い昔の　少年と少女にまつわる物語

winter memory 僕は君を忘れない　ありかけた愛が夢にまたがるその時を

紫

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、赤が落ちて　赤が落ちて
　　青が消えて　青が消えて
　　混ざり合って　混ざり合って
　　白いキャンパス　白いキャンパス

　　紫　ど真ん中に　塗りたくる
　　紫　辺り構わず　塗りたくる
　　もっと　もっと　もっと　もっと　濃い
　　紫　ど真ん中に　塗りたくる

２、泣いていた　泣いていた
　　部屋の中　部屋の中
　　死んだはず　死んだはず
　　生きていた　だから畜生！

　　紫　ど真ん中に　塗りたくる
　　紫　辺り構わず　塗りたくる
　　もっと　もっと　もっと　もっと　濃い
　　紫　ど真ん中に　塗りたくる

爆破スイッチ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、あと　どれくらい　暴れまわったら
少年たちの心　救えるのだろう

愛されず育ち　叱られず育って
爆発したんだろう

俺は　なぜ　生きてるの？
俺は　なぜ　生まれたの？
考えていた　16、７、８の夜
やがて　悩み抜いたことが
人生の糧になって
息をしていた
この夜に

２、傷つくことに恐れ　足を踏み出せずに
体のダルさを　言い訳にしてる

人混みの中を　歩いたら
トラブル　必ず　起こんだよ

俺を決して
嘲笑（わら）うな
俺を決して
叱るな
人に馴染めず
踏み出す勇気もなく
それはＢ型のせいだ！
それは遺伝のせいだ！
叫び続けた
この夜に

仮面は　いつ剥ぐんだ
自分の　本当は誰だ？
軽蔑という言葉を超えて
だけど　誰かが汚したら
そして　何かを感じたら
爆破スイッチを　押すからね

素直な詩（うた）

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、それとなく元気になって　キレイになってわかったの
こんな　ひまわりの中で　ボクは　ただ　揺れてるだけなの
そんな日も　どんな時も　どんなことも　乗り越えられるわ
晴れた　太陽の中で　そっと　いま　ささやいているの

あなたは　優しさ忘れたから　２人　心　ケガしてしまい
張り裂ける　光の中　神へと愛を誓った

今　思い出が　消えてしまうくらいなら
夜が明けるまで　抱きしめて欲しいの
今　涙がなくなってしまうものならば
朝が来るまでは　愛していたいよ
OH　bye bye blue もう　何も探さないから
信じてあげたい　この人を

２、ゆっくりと想い乗せて　夢の唄を口ずさむけど
答えは自分で出すもの　本当に助けはいらないから

僕は　宗教　信じないけど　神様に　道を　教えてもらい
行く道は　この道と　真っ直ぐな啓示を超えて

今　誰かが　助けてくれなくても
見守ってくれても　どっちでもいいわ
私には　はっきり　答えが見えているから
たとえ　傷ついても　歩いてゆけるわ
OH　bye bye blue　迷わずに　立ち止まらずに
１人で進むわ　この道を

わかってるんだよ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 ひとつ言っておきたいことがあるんだ　たいしたことじゃない

ボクはあなたが好きで　この心がドキドキ

ずっと　おしゃべりしたい　その笑顔が好き

わかってるんだよ　だれのせいじゃない
一人暮らしが　長かったせいだよ
愛してるんだよ　そっと送るよ
あんまり言うと　耳タコになるだろう

2、 キミは開いたドアに対し　足で閉めようとした

その姿に少しひいたが　たぶん　気が強いかもしれない

強く　抱きしめたい　優しい思いやりに

想ってるんだよ　凄く好きだよ

自由だらけで　強くなれない

探してるんだよ　愛の宝箱

地球儀の上　そっと描くよ

狂ってるんだよ　愛しすぎるよ

たくましいから　眩しいんだよ

洗ってるんだよ　熱い想いを

最後の言葉　思い出してる…

平凡な幸せ

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、 今日はある人の電話で　叩き起こされてしまった
空調設備が悪くて　それを明日直すという

歳をとった外国人が　顔の辺りに血を流してた

警察官が２人近づき　救急車までやってきた

胸の大きな女性が　歩いてたけど
心理戦も面倒　逆側を向いた

死語かもしれないけど　むっつりスケベさ
それもいいけど　美人を見たい

2、 コーヒーは　インスタントより　缶コーヒーの方が　おいしい
でも　せっかくの貰い物だから　その気持ちを考えてしまう

今日は　体も普通だけど　作業はちゃんと進んだから
あくまで　自分のしたいことなら　忙しい方が健康さ

片付けはいいけど　掃除が嫌い
そういう時間は　自分に使いたい

暖房が温かい　後でココアを買おう
平凡だけど　幸せなのかも

凍えそうな LOVE

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、凍えそうな LOVE　今　ハンドル手に　「愛してる」って　つぶやいた

忘れそうもない　恋よ　静かに　離れていかないで　tonight

優しい想いにとらわれるけど　その言葉忘れないで

抱きしめられたら　恋にならない　最後の愛だから

２、車の窓　雪は静かに　流れていくのが　今

信じたくない　別れ告げないで　離れていかないで　good night

涙が　自然に零れるけれど　この冬は　もう　止まらない

私は　心底　信じてるのよ　あなたのことが好き！

螺旋の指輪

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、愛のために贈る　指輪（リング）さ
見えなくていい　その指にはめてあげる
かわいい顔を　しているね

そっと抱きしめ　寝顔を見つめていたよ

心を　そっと誘うよ　甘えてごらん　ほら　大丈夫

２、夢の中で　見てた　あなたは

テレパシーでも　現実でも　味方だった

最期に　別れてしまうけど

優しさだけを　置き去りにしてしまうから

走っていた　公園の中で　アイポットを　耳にはめて

３、２人だけで　作る　料理は

とても愉快な　オテンバの味がしたね

揺れて　流れて　楽しんで

お別れがきて　それでも　生き続ける

ありがとう　僕のために　ささやかだけど　言葉を飾るよ

支え合うこと　求めあうこと

生きていくこと　互いに…

Lonely winter

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

１、割れたガラスを叩いて　どこまでも雪景色
あなたは　白い息を吐く
温かいココアを飲み干し　サッカーのテレビを見て
いつまで作業は続くの

これは僕の人生　神に与えられた人生
だから　頑張ってみる　完成させて　それでおしまい
そこへ　向かい　走ってる

みかんを差し上げたら　リンゴを頂いた
こんな年末の冬に　人のありがたみを感じた

2、　できれば読書をしていたい　人に会うのもいいけど
独りの時間が大切

冬は始まったばかり　これから　益々　寒くなる
夏が好きと言う人　冬が好きな人
後者が多いが　俺は暑い夏が好き

今年も　実家に帰らない　親も歳を取るのに
きっと　ひっそり　帰るから　ステーキをご馳走してよ

今日は　大きな月を見た　信じられない程のまる
クリスマス　年末　年始　今年も迎える　lonely winter

１７歳（じゅうしち）（歌詞のみ）

作詞　岡本　悠／作曲　岡本　悠

1、１７歳（じゅうしち）、この歳　俺の中で
一番大きな歳だったみたいだ
わがままばかりを振り回して
それでも自分が辛かった時に

いろんな人に支えられ　俺は生きてきた事

親には散々迷惑をかけ
今年は本当に散々だったけど
家出して　翌朝帰った時
机の手紙に俺は涙零した

人を愛するその意味を俺は感動で受けました

2、疲れ、半分、死にかけてた時
友人あなたは愚痴を聞いてくれたね
いろんな言葉をもらいながら
俺は自分を見る事ができました

夢はなくても今がある、それが解った